



## Press Information

VPR06-044

2006年9月20日(水)

フォルクスワーゲン グループ ジャパン 株式会社

### フォルクスワーゲン、J.D. パワーの米国自動車環境度ランキングで第1位

2006年9月12日(火)、ウォルフスブルグ発:

市場調査機関名門であるJ.D. パワー・アンド・アソシエイツによる2006年米国自動車代替エンジン調査で、フォルクスワーゲンは米国で最も環境に優しい自動車ブランドに選ばれました。J.D. パワーは環境に関する複数の要因に関して、米国で販売している37の自動車ブランドを対象に分析を行いました。その結果、最も低排気ガスのガソリン及びハイブリッドモデル上位30車のうち、3台がフォルクスワーゲンであり、さらに革新的なディーゼル車を提供することにより、フォルクスワーゲンは今回初めて実施された本調査において最も環境に優しい自動車ブランドと評価されました。

フォルクスワーゲン ブランド会長 Dr.ウォルフガング ベルンハルトは、「この“自動車代替エンジン調査”の結果は、我々が全世界に経済的なエンジンの導入に集中的に取り組んでいることを証明するものであり、その革新努力は、TDIエンジンなどで継続的な効果を発揮しています。米国市場では、フォルクスワーゲンは現在最も多くのディーゼル乗用車を販売しており、この状況は今後も変わることはないでしょう。」

J.D. パワーは米国環境保護庁(EPA)提供のデータ及び、米国の消費者を対象とした調査データを踏まえて、「Alternative Powertrain Study(自動車代替エンジン調査) (APS)を実施し、そこから「Automotive Environmental Index(自動車環境度) (AEI)を導き出しました。AEIは複数の環境に関する要因から構成されていて、約50%を占めているのが燃費です。燃費は環境に関する要因の中で消費者にとって最も重要度が高くなっています。このAPSでは、AEIに基づき環境に最も優しい乗用車(ガソリン+ハイブリッド)トップ30車のランキングを行いました。その結果、フォルクスワーゲンはゴルフ、ジェッタ、ニュービートルの3台がランクインしています。

今回の上位30車ランキングでは、ディーゼル車はランクインしませんでした。AEIのブランド別ランキングには反映されています。これにより、米国市場でガソリンエンジン車と共に複数のディーゼル車を販売しているフォルクスワーゲンは、ブランド別のAEI総合評価で第1位となりました。J.D. パワーの予測によると、米国でのハイブリッド乗用車市場は、2013年までに現在の1.6%から5.0%までに拡大し、ディーゼルは同期間に3.6%から9.0%に増加するとされています。

現在、フォルクスワーゲンは米国のディーゼル乗用車市場をリードしています。ごく最近ラインアップに追加されたトゥアレグV10 TDIは、米国市場でのターボディーゼルSUVとしては初めてとなるDPF(ディーゼルパーティキュレートフィルター)を標準装備しています。このDPF付のトゥアレグV10 TDIは、ガソリンエンジンが圧倒的な米国SUV市場において、魅力的でダイナミック、さらに経済的であるという利点を兼ね備えています。また米国で最も売れているディーゼル乗用車はフォルクスワーゲン ジェッタです。アメリカの消費者の間では、「TDI」とは経済的で環境に優しいクルマを意味するだけでなく、ハイトルクで性能の高いクルマとして認識が拡大しています。こうしたTDIの特徴は、アメリカのドライビングスタイルに見事にマッチしています。

広報写真のダウンロードは、フォルクスワーゲンAG プレス専用サイトをご利用ください。

<http://www.volkswagen-media-services.com> ID: septe001 Password: v99w134 (有効期限9月23日)

ID: septe002 Password: v52w89 (9月23日~10月7日)